第３学年総合的な学習の時間学習指導案

対象：第３学年１組２９名
授業者：

１　単元名「しもあか大根研究所」

２　単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・種から大根を育てることを通して大根の栽培方法を知るとともに、様々な調理法による大根との「格別な味」との出会いによって野菜は望ましい食生活に欠くことのできないものであることが分かる。	・大根について知りたいことを決め、テーマにそって調べ、自分に合った方法でまとめ、表現する。	・疑問に思ったことやくわしく知りたいことについて積極的に調べたり聞いたりして、大根を育てたり食べたりすることに関心をもって取り組もうとする。

３　単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・大根の手入れの方法を理解し、適切に育てることができる。 ・大根には様々な調理の仕方があることが分かる。 ・大根をはじめとする多くの野菜には自分たちが成長するために、必要な栄養があることが分かる。	・自分の思いを伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら、考えを深めることができる。 ・一人一台端末を活用して成長過程を記録し、観察から気付いたことを文章化してまとめている。 ・収穫して食べることの喜びを感じ、表現することができる。	・体験活動等を通して、自分が学びたい課題を見付けようとする。 ・自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ・学んだことを次の学年に伝えようとしている。

４　食育の視点

食事の重要性　大根を育てて食べる体験を通し、野菜のもつ食材としての魅力や栄養にふれ、進んで野菜を食べようとする心情を育てる。

５　単元について

本単元では、板橋区の特産物である「大根」を通して、自分たちの住んでいるふるさと「板橋区」のよさや大根のもつ食材としての魅力に気付き、その気付きを自分自身の身の周りの人たちに伝え、広げていくことで、日々の生活や未来について考えられることを目指した学習である。

板橋区・練馬区は、かつて大根の大きな産地のひとつであったが、現在も板橋区の野菜の生産量で最も多いのは大根である。子供たちは、社会科の学習で「板橋区の農業の仕事」

について生産者の工夫や苦労について学習してきた。また、大根は家庭や給食で日常的に食べられている野菜であり、子供たちにとってすぐに手に取ることのできる身近な野菜の一つである。

本単元では、大根を自分たちの手で実際に栽培し、食する体験を通し、大根の生産から消費までを自分のテーマに沿って探求していく。身近な大根を改めて探求することで、大根のもつ食材としての魅力や、生産者、調理してくれる人の労働に気付き、普段何気なく口にしている大根を「食べてみたい」「食べてみよう」というすすんで野菜を食べることの意欲につなげたい。

７　目指す児童像

「すすんでよりよい食生活を目指す子」

期待される児童の姿	本時の具体的な手だて
自分たちの育てている大根の収穫を楽しみに待つ姿やこれも大根の仲間なの？との疑問をもつ姿	葉のついた大根や青首大根以外の京野菜、練馬大根の実物を提示する。
料理に挑戦したい、家の人に作ってもらいたいと考えながら、食べることへの興味・関心を高める姿	間引き菜や大根の葉を使った料理動画を提示し、葉の部分も美味しく食べられることを伝える。
食べるまでに様々な人が関わっていることを実感し、自分の生活に欠かせない存在であることを理解する姿	スーパーマーケット見学時の様子や給食室の様子がわかる写真を提示する。

８　単元計画（全２５時間）

時間	日程	主な活動内容
１	９／６	畑の雑草抜き （土を耕す） （肥料をまく）
２	９／１８	種の観察 ・耐病総太り大根 ・練馬大根 ・赤丸大根
３・４	９／２０	うね作り 耐病総太り大根種まき JA 鈴木さん田村さん GT
５	９／２５	耐病総太り大根 発芽の観察
６	１０／２	赤丸大根種まき プランター作り （牛乳パックをプランター代わりにする。）
７	１０／６	耐病総太り大根の育て方について調べる。 収穫までの計画を立てる。 カレンダー作り 天気・気温・観察
８	１０／１０	赤丸大根 発芽の観察 赤丸大根の育て方について調べる。
９	１０／１３	「みの早生大根」「練馬大根」「赤丸大根」はどんな大根なのか。 ⇒調べる（本・インターネットなど）
１０	１０／１６	耐病総太り大根を観察し、成育状況をオクリンクにまとめる。
１１（本時）	１０／２６	大根の成長や試食動画を通し、大根について疑問に思ったことや考えたことをまとめ、自分の研究テーマを決定する。
１２・１３	１０／２７	耐病総太り大根 間引き・土寄せ 間引き菜観察
１４・１５	１０／３０ １１／２	疑問に思った内容を調べ、パンフレットや新聞などにまとめる。

１６	１１／７ （３校時）	GT 山口さん みの早生大根の歴史 区や JA の取組、食の大切さ、大根の抜き方のポイント、板橋農業まつりについて
１７	１１／１０	給食室で調理している様子や作り手、栄養士の思いなどを知る。 栄養士増田先生や調理員の方へインタビュー
１８	１１／１８	赤丸大根収穫観察 ※土曜授業 ⇒持ち帰り （家庭で調理）
１９・２０	１１／２７ （延期日１１／２８）	耐病総太り大根 収穫・洗う・観察 ⇒給食室へ届ける （外から給食室へ）
２１	１１／３０ （３・４・５校時）	郷土資料館　細樅さん GT 板橋区の農業の昔と今
２２・２３	１２／４ １２／８	発表の準備
２４	１２／１５	リハーサル
２５	１２／１８	２年生に発表→ポスターセッション 学習のふり返り 学習全体で学んだことをふり返り、自分の生活につなげる。

９　本時の指導（２５時間扱いの１１時間目）

（１）ねらい

大根は捨てるところがないことを知り、大根について調べたい研究テーマを決める。

（２）本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点　☆期待する児童の姿 評価【評価方法】
導入 １８分	○大きく成長した葉付き大根と、間引いた大根を見る。 ○葉を切り落とす実演を見る。（葉を捨てるふりをする） ・大きな大根だあ。 ・葉を捨てたらもったいない。 ○大根の葉を調理して食べている動画を視聴する。 ・美味しいそうに食べているなあ。 ・葉っぱは食べたことないなあ。 ○調べてみたいことや知りたいことを書き出して何をテーマに研究していくか考える時間であることを理解する。	○実物を提示し、大根の根と葉の部分に分けて切り落とす。どの部分を食べたいか児童に問い、葉を捨てるふりをする。 ○動画を通して、葉も皮も食べられることを知り、大根への興味を高めさせる。 ○教員が料理をしているところや食べているところを見せ、おいしく食べられる料理方法に関心をもたせる。 ☆願うだけでは育たないことを感じさせ、そのためには育てるための様々な知識が必要であることに気付く姿
	大根についてもっと知りたいことや調べたいことを書き出し、自分の研究テーマを決めよう。	

展開 １ ７ 分	○疑問や知りたいことを書き出す。 ・大根は何種類あるのか ・おいしい大根の見分け方は何か ・栄養はあるのか ・他にどんな料理方法があるのか。 ○書き出した内容を、近くの友達と共有する。 ○研究テーマを１つ設定し、用紙に記入する。 ○同じテーマの友達を見つける。	○疑問や知りたいことをワークシートに自由に書かせる。 主①：自分の疑問を書き出し、課題を設定することができる。【ワークシート】 ○理由を加えて、書き出した内容を伝えるようにする。 思判表①：自分の思いを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、考えを深めることができる。【観察】 ○数人にテーマを聞き、自分がどの友達と同じになるのか名前のマグネットを黒板に貼る。 ○研究テーマが１人や２人になったところは、他のテーマと合わせられないか考えさせる。 ○ワークシートに同じテーマをもった友達の名前を記入させる。
まとめ １ ０ 分	○本時のふり返りをする。 ・テーマを決めることができた ・自分の考えを友達に伝えることができた ・友達の考えをしっかり聞くことができた ・感想	□ワークシートに記入後、感想を発表し合う。 □今後の予定⇒間引く活動と自分の研究テーマに沿って調べていくことを予告して終わる。